

# 社友会だより

## 第 8 号

発行 センツウ社友会

住所 東京都港区赤坂2-4-5

〒107-0052 (国際赤坂ビル 3F)

ドコモ・センツウ株式会社内

編集者 大場省平

### \* 社友会第2回役員会開催 \*

平成17年10月13日(木)午後6時から、本社会議室に於いて、第2回役員会を開催いたしました。

同役員会には、法安会長、沖本副会長、佐々木、森、大和田、長谷川、大場の各理事及び清水監事(中央在住役員)が出席し、懸案となっている各事項について討議し、午後8時に散会いたしました。

会議に先立ち、会長から「社友会役員はボランティアであり、又、誰かがやらねばならないことを認識され、積極的に取組んで行きましょう。そして、一日も早く立派な全国区の社友会にしましょう。」と強調の挨拶がありました。

#### 1. 議題

##### (1) 会員の増強

① 転社者に対する入会勧奨については、入会案内文書を作成し、11月の会社の雑誌発行時に会案内書を同封し勧奨する。(森、大和田の両氏が担当する。)

入会案内文書は、これまでの事務局を改め、会長名とし、文書を作成する。

(増淵氏に相談する。)

② 今後の退職者に対しては、会社総務部にお願いし、退職関係書類と併せて入会案内書をお渡しする。(大和田氏が担当する。)

③ 退職者・入会者の情報は、地域担当副会長に連絡し相談する。(住所・電話番号)

入会者については、「社友会だより」に掲載する。

##### (2) 会費の徴収

会費徴収について関係書類を早急に整理する。

① 未納者リストを9月末現在で整理し、郵便振替用紙に金額を記入して送付する。

森氏から大和田氏にリストを渡し、未納者を確認する。

② 郵便振替用紙には、既に金額(1,000円)が印刷されている。従って、金額の訂正が可能か、また、不可能の場合は、無地の振替用紙を早急に手配する。

③ 振替用紙および支払いについてのお願い文書の送付は、11月号の「センツウ雑誌」発送時に同封する。ウメハラ印刷さんに依頼する。

同封する会費振込み依頼文書は、長谷川、森大和田の3氏が検討、作成する。

④ 長期未納者の振込み依頼については、期間切捨て等を別途検討する。

##### (3) 社友会の書類の保管等

① 社友会の関係書類の保管場所は、本社内に確保した。但し、書類が多いため、この際に整理する。(森、佐々木の両氏が担当する。)

② 電話は7550番を確保しているので確認し、再度周知する。

##### (4) 事務局の引継ぎ

計画を大幅に経過しているため、両者協力し、早急に取運ぶ。

① 10月15日(土)12:00を予定する。場所は会社とする。

② 上記引継ぎには、森、長谷川の両氏の他、佐々木氏が立会う。

##### (5) その他

総会開催日程の変更について

7月末では、暑過ぎること、また、夏季休暇の予定等もあり、前倒しするか9月頃にずらせないか。

① 社友会会則では、年度は7月1日から翌年の6月30日、総会開催は7月と定められている。

② 前倒しして、7月上旬または中旬とした場合、総会資料作成が間に合わない。9月とした場合、決算月から期間が開きすぎる。

上記の状況から、地域副会長とも相談しながら、決定することとし、次回の役員会までペンディングとした。

##### (6) 「社友会だより」の編集会議

① 11月号については、紙面トップに役員会の記事を掲載する。次に、会員の近況および活動状況を掲載する。

② 11月号は、記事が多くA4両面では掲載ができないため、1ページを追加する。

原稿については、何字以内とする旨を周知することとした。

③ 紙面のカラー化については、経費の問題もあり年度内実施は困難。

④ 「会員の声」欄を設ける。

今回は、会の財務事情もあり、地域副会長に出席して貰えなかったが、本日の模様を詳細に連絡し意見を求める。

### \* 社友会第3回ゴルフコンペ開催 \*

#### 山形剛士さん優勝

平成17年9月5日(月)大利根チサンCC(千葉県野田市)において17年度第3回ゴルフコンペを開催しました。

当ゴルフ場は昭和39年開場の利根川沿いにある河川敷きのリバーサイドコースですが、池やクリークがあり、コースをセパレートする樹木(主に柳)が大きくなり、飛球が左右にブレると木の枝が邪魔になり、横に出すだけというトラブルになり、一見林間コースのように感じられます。また、ショートホールも200Yと長いホールもあり、河川敷きとしてはタフなコースです。

ルールは、例年どおりの新ペリア方式で実施しました。今回は4組(16名)の参加で賑やかな大会になりました。しかし前夜から未明にかけて首都圏を襲った記録的な集中豪雨があり、開催できるかどうか不安な気象状況となり、各地の被害状況を刻々と伝えるラジオの臨時ニュースを一晩中聴いて、殆ど寝てない状況で、早朝ゴルフ場に駆けつけました。途中、晴れ間も見えてきましたが、河川敷きコースのためクロウズされていないか、一抹の不安がありました。幸いゴルフ場は平常営業しておりましたので、コースの状態を見るため徒歩でスタートホールの1番と10番ホールを確認しました。コースは大雨の影響は殆どなくプレーに支障がないことが分かり、やっと安心しました。

集合時間までには皆さん全員が到着され、挨拶、ミーティング、もそこそこに第1組から順次スタートし、熱戦の火蓋がきられました。前半が終わり、昼食のビールを飲みながら各組のスコアを聞き、優勝はAさんだ、いやBさ

んだと、賑やかな下馬評がありました。皆さんそれぞれ後半戦に期待して再スタートしました。後半は出だしから雨天になり、風も出てきましたが、プレーを続行しました。熱戦の結果、唯一グロス 80 台の好スコアで、飛ばし屋の定評がある山形剛士さんが優勝(DC・BGも獲得)されました。2 位に私、沖本が、3 位に加藤恒男さんが入りました。なお、スコアの集計には山形さんが持ち込こんだパソコンを使い、黒田さんの協力により、瞬時に成績表がプリントアウトされました。(集計時間が短縮され本当に助かりました)表彰式はクラブハウスのコンペルームで行われ、ブービー賞から、ベスグロ賞、ゴラコン、ニヤピン、飛び賞、及び入賞(優勝、2 位、3 位)された方々に豪華?賞品が法安会長からそれぞれ授与されました。

最後に優勝されました山形さんの喜びの挨拶があり次回(18 年)も実施することでお開きになりました。(幹事からの一言・本来なら中止となるような悪天候のなか、全員が参加され無事開催できましたことは、皆様のご協力のお陰と感謝しております)なお、参加された方々と、入賞された方はつぎのとおりです。

**参加者氏名** (スタート順・敬称略)

- 1 組 山根信義 ・ 檜尾政司 ・ 山形剛士 ・ 黒田繁雄
- 2 組 法安忠美 ・ 鈴木 徹 ・ 目黒 敏 ・ 沖本良平
- 3 組 福田嘉信 ・ 林 憲男 ・ 佐々木幸雄 ・ 長谷川良雄
- 4 組 堀川数好 ・ 大村唱一 ・ 加藤恒男 ・ 立石孝男

**入賞された方**(敬称略)

| 順位  | 氏名   | グロス | ハンディ | ネット  | その他の賞 |
|-----|------|-----|------|------|-------|
| 優勝  | 山形剛士 | 89  | 15.6 | 73.4 | BG・DC |
| 2 位 | 沖本良平 | 100 | 26.4 | 73.6 |       |
| 3 位 | 加藤恒男 | 104 | 30.0 | 74.0 |       |

**入賞者の喜びの声**

○優勝された山形さん

慣れない高麗芝に悩まされましたが、午前中は余裕をもってトップで上がり、内心優勝を確信し、祝杯をあげたのがあたり、午後はメタメタで「逆大波賞」精神修養の足りなさを痛感しましたが午前中の貯金が効いて「ベスグロ」を頂き、ハンディも適当に付いて優勝できました。

平均年齢は遥かに 70 歳を超えた 16 人のメンバーで、中でも同伴した最高齢の山根様(80 歳)の華麗なショットには驚きました。私も先々「最高齢」の山形様が優勝と記事に載る事を夢みて、先輩方に負けぬように、日々鍛錬を重ねて頑張ります。

○2 位の沖本さん 今回は、3Wのショットが右方向に飛び、アプローチはグリーン横から 20~30Yぐらいの難かしいバンカー越えのショットが続き苦戦しました。後半は 47 に纏めましたが、前半の 53 が響きトータルで 100 になり、グロスでは 8 位でした。ハンディホールのおかげで昨年が続いて 2 年連続の 2 位になり、皆さんに申し訳ないと思っておりますが、皆さんから「今回は幹事泣かせの天候だったから努力賞の 2 位だ」言われて甘受しました。

○3 位に加藤さん 伝統あるセンツウ社友会ゴルフコンペに 2 年連続参加させて頂き入賞、千葉県産コシヒカリ新米を頂戴し感謝しております。スコアは昨年に比し最悪の状態でしたが、新ペリア方式により HD30.0 に救われました。私は、さいたま市在住で当ゴルフ場は 16 号線を約 1 時間で大変便利です。機会がありましたらまたご一緒させて下さい。

どうもありがとうございました。(レポート・沖本良平氏)

**\* 我が近況 \***

**横溝辰昌氏**

サラリーマン生活(囑託を含む)に別れを告げ、2 年半となります。会社勤めを辞めて約 1 年間、現役時代は家庭の事をあまり手伝わなかったのが、罪滅ぼしにと家の事を手伝、また、旅行や趣味等に日々を重ねていました。しかし、不満は無いのですが、何か物足りなさを感じました。緊張感がないのです。このままでは何となく老いてしまうと

思いを決してシルバー人材センターに登録しました。

現在は、若干ストレスを感じながらのシルバーの仕事、家事手伝い、山歩き、囲碁、読書、温泉や旅行等、一日一日楽しく充実した日々を過しています。

「日々の概要は、次の通りです。」

○仕事・・・駅の駐輪場の管理員として、1 週間連続勤務・2 週間休みのローテーション(1 日 5 時間・月平均 10 日)で仕事をしています。

○山歩き・・・若いときの様な馬力が無いので、近くの山々に登っています。

(風師・戸の上・足立・皿倉・福知・求菩提・犬ヶ岳・俵山等々)

今後、少しずつ範囲を広げようと考えています。このため、朝の体操や散歩(トレーニングを兼ねめかり山)をしています。



<中央アルプス駒ヶ岳 千畳敷カールにて>しています。

○旅行・・・国内のツアー参加、ドライブ、日帰り温泉等を楽しんでいます。

「追伸」

ちなみに、我が女房殿は、私と共に旅行・時々山歩きの付き合いの他、水泳(バタフライでマスターズ大会に参加)・カラオケ・孫の面倒等々、大変多忙な日々を過しています。

**\* 霊峰白山の麓にて充電中 \***

**古屋 正氏**

深田久弥がこよなく愛し日ごと仰ぎ望んだ礼法白山。富士山、館山と並び、山岳信仰で知られ、春から秋にかけてはドライブ(白山スーパー林道)やハイキングを楽しむ人々で賑わい、その麓には数多くの温泉が湧き出している。その山中を源にした手取川が日本海に注ぐ河口に位置する旧美川町(今年 2 月に市町村合併により白山市となる)を終の住処としまもなく 1 年が過ぎようとしております。私の住む白山市手取町は、明治 4 5 年には、県の中央ということで、一時、県庁が置かれ、石川郡美川町であることから「石川県」という名前の発祥の地であります。県の西南、金沢市と小松市の中間にあつて緑豊かな自然環境に恵まれています。春、海辺からの心地よい風にさそわれるかのように、シロウオが狙上し、スベリ漁が営まれます。そして、そのような中、ユリカモメや白サギ、ツバメが手取川べりや田園地帯の宙を舞い、江戸時代、港町として栄えた面影を残す町並みでは、北前船での繁栄の名残を留める「おかえり祭り」が毎年五月に行われます。台車(だいぐるま)と呼ばれる山車に先導され、神様が御旅所に神幸されます。また本宮への帰りの道中では、道筋にあたる家々で客をもてなし、報恩感謝と未来永劫の繁栄と安全を祈願します。北陸地方特有の長く憂鬱な冬が終わり、山の木々が芽吹くころ、山菜取りから私の活動が始まります。ウド、タラの芽、コシアブラ、ハナイカダ、モミジ

ガサ、イラクサ、カタハ、アマドコロ、アマナ、何れもおひたし、天ぷら、和え物等で食す。そして皆さんよくご存知のワラビ、ゼンマイ、ミョウガの子、タケノコ（もうそう竹、破竹、真竹、根曲がり竹の各種）等々。山菜ブームとあって道路沿いでは殆んど採り尽くされていますので、時には、国道の冬季閉鎖解除を待って岐阜県や富山県の山中まで、熊に出くわすことを心配しながら出向くこともあります。私の一押しは、昔、修験者が食べたといわれる行者ニンニクです。

夏には登山を楽しみ、年間を通しての楽しみは、富山営業所に勤務した昭和55年頃から始めたゴルフで月1回程度楽しんでおりますが、加齢と共に飛距離が落ちてスコアメイクに苦労しております。また、我が家の敷地に小さな畑を作り野菜作りに挑戦し始めました。今後釣り等にも挑戦したいと考えております。

自然環境に恵まれた北陸地方には、兼六園、白山スーパー林道、能登半島（石川県）、黒部・立山アルペンルート、おわら風の盆（富山）、永平寺、伊勢営業所の所長だった村田哲夫氏のいる越前海岸（福井）等の観光地や祭りごとがありますので、ゆったりとした旅へでかけてみませんか。

最後になりましたが、センツウ社友会の事務局の皆さんご苦労様です。

#### \* 亡き同期入社三名の思い出と追悼 \* 板垣照雄氏

「社友会総会資料」に相川武司さんが平成17年1月に逝去との訃報を見て驚いた。二年前の平成15年4月に関和定男さんが、更にそれ以前の平成10年頃に渥美正明さんが他界されたが、この三名の方と私は昭和57年4月、当時の電々公社を退職し、日本船舶通信KKと一緒に入社、大分董（とう）が立った「同期新入社員」であった。

入社一ヶ月位前に内定通知を受けるため丸の内の本社に集まり、初対面の挨拶をかわし、今わ亡き専務の小畑さん・総務部長の石田さんから会社の組織や業務概要等について説明を受けた。

入社時の配属は相川さんは監査役室、関和さんは川崎センターの業務部に、私は営業部であった。

相川さんはなかなかの文芸家で、社内報「せんつう」に電電公社の海底線敷設船に乗船していた頃の大変ユニークな体験を連載で寄稿されており、また会社余技展にも写真等出展し、文芸の才豊かな方であった。関和さんは大変世話好きな明朗闊達な方で、彼の側に行くとかか賑やかな明るい雰囲気、私達四名のリーダー格でもあった。渥美さんは大変温厚な生真面目な方であった。

私達は同期入社で年数回集まっては一杯飲みながら、オダをあげることもあったが、ある年の年末、横浜の中華街で四名で忘年会をやり、中国酒を痛飲した。何とも愉快で忘れられない会合であった。会社退職後はあまり会う機会もなく年賀状の交換を続けていた。

顧みると私達が入社した昭和57年は日本船舶通信KK創立30周年の年であり、あれから早や20有余年が過ぎ、社名をはじめ組織も業務内容もすっかり変わり、まさに「往時茫々」「光陰矢の如し」である。

同期入社四名中、私一人が残り「幽明界を異にする」こととなった。私も遠からざる将来、そちらに行くことになるであろう。その時は関和さんよ「あの世で賑やかに私の歓迎会をお願いします。」



昭和57年12月創立30周年記念会場で  
（板垣さん、渥美さん、関和さん、相川さん）

今は亡き三名の謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。  
合掌

#### \* 事務局連絡場所 \*

社友会事務局は、次のとおりです。

住所 東京都港区赤坂2-4-5 〒107-0052

国際赤坂ビル

ドコモ・センツウ(株) 総務部内

事務局 長谷川英夫 事務局長

携帯電話 090-2526-8753

E-mail: hideohsg@bd.mbn.or.jp

(総務部) 03-5114-7550 FAX 03-3224-1002

(注) 事務局長は常駐しておりませんので、総務部にて連絡先をお尋ね下さい。

#### \* 会員の声 \*

社友会に関するご意見・ご要望をお寄せください。事務局では、皆様からのお声を会の運営に反映させて参ります。

ご意見・ご要望は、事務局へ

#### \* 会費のお振込みについて \*

平成17年度（平成17年7月から18年6月）の会費（年会費1,000円）につきまして、同封の郵便振替用紙にてお振込み下さいますようお願いいたします。

なお、過年度分の会費がお振込みされていない方は、17年度分に合算した金額を振り込み用紙に記載しておりますので、ご確認のうえお振込み下さい。

#### \* 新会員情報 \*

次の方々が入会されました。

|         |                      |               |
|---------|----------------------|---------------|
| 平成17年7月 | <u>和田忠則さん</u>        | <所属中央>        |
|         | 東京都世田谷区桜丘1丁目2-20-510 |               |
|         | 〒156-0054            | 03-3428-1807  |
| 同 7月    | <u>鈴木健友さん</u>        | <所属中央>        |
|         | 神奈川県茅ヶ崎市柳島1-12-17    |               |
|         | 〒253-0064            | 090-2706-0001 |

#### \* 「社友会だより」に「近況」や「声」の投稿をお待ちしています。 \*

○内容 形式等は問いません。何でも可

○文字数 1,000文字以内、できれば写真をお願いします。

○宛先 編集担当 大場省平

東京都江戸川区大杉2-3-7

〒132-0022 TEL・fax03-3651-1289

E-mail: Shoheiohba@aol.com